※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	中国語Ⅰ	2	第２学年	改訂新版　高校中国語 （白帝社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語の発音を身につけ、身近な話題について、中国語を聞いたり読んだりしたことを理解し、自分や家族のこと、学校生活などについて伝える基礎的な能力を身に付けることを目標にします。実際に使用できる場面を想定し、対話作文や発表をします。また、毎回の授業で中国文化・習慣・現代中国事情などについて触れ、中国文化に対する理解を深めます。積極的にコミュニケーションを図ろうとすること、誰とでも協働できることも目標にします。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	あいさつや数字、身近な話題についての文をゆっくり発音されれば、聞き取ることができる。	簡体字で書かれた文を語順や意味の違う漢字に注意しながら読むことができる。	名前、誕生日、身分（高校生）、学校名、どこの国の人であるか、兄弟姉妹、家族構成、干支、年齢、住んでいる市・区について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分やのことを紹介することができる。	学習した文法事項などの知識を活用して、簡体字を用いて、場面、状況に応じた正しい文を書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	発音の基礎／ 自分を語る 第１課 “你好！” 第２課 “请进！” 第３課 “你叫什么名字?” 第４課 “今天几月几号？”	聞くこと	a: 声調を聞き分けられている。簡単なあいさつや数字を聞いて理解することができる。 b: あいさつ、「どうぞ～してください」など、聞き取って適切に応答することができる。 c: 積極的に聞き取ろうとしている。	小テスト 定期考査
		読むこと	a: 簡体字を見て、意味を理解することができる。 b: 自分の名前尋ねたり言ったりする表現や日付・曜日を見て、理解することができる。 c: 簡体字を積極的に覚えようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 自分の名前の中国語の発音をすることができる。１～９９までの数字を正しい声調で言うことができる。 b: 名前や誕生日を尋ねられて、それに答えることができる。 c: 相手の名前を尋ね、自分の名前を言うことができる。	インタビュー テスト
		書くこと	a: ピンインの声調符号を正しい位置に書き、どの声調がどの形か書くことができる。自分の名前を正しい字体で書くことができる。“姓”と“叫”の動詞の使い分けができる。 b: 「ありがとう」「どういたしまして」「私の名前は～です。」など、あいさつや自分の姓名を書くことができる。 c: 正しい字体で書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	自分と家族を語る 第６課“那是什么花儿? 第７課“你是高中生吗？” 第８課 “这是你的书包吗？” 第９課“你有兄弟姐妹吗？” 第13課 “你家有几口人？”	聞くこと	a: 中学生、高校生、「これ」「あれ」「どれ」「何人」などを聞き取ることができる。 b: 中学生、高校生、高校名、兄弟姉妹、人数を尋ねる表現などを聞き取ることができる。 c: 自分や家族についての質問を積極的に聞き取ろうとしている。	小テスト 定期考査
		読むこと	a: 「これ」「あれ」「どれ」「何人」「中学生」「高校生」など、読んで意味を理解することができる。 b: 「兄」「姉」など、兄弟姉妹について書かれたものを読んで理解することができる。 c: 文字が読めるように積極的に覚えようとしている。	定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 自分が高校生であること、自分の年齢、干支、兄弟姉妹、何人家族かを言うことができる。 b: 自分が高校生か、年齢、干支、兄弟姉妹、何人家族かを尋ねられるのを聞き取って、答えることができる。 c: インタビューテストに向けて、ペアで積極的に練習している。自分からすすんで発表したり、中国語で先生に話しかけたりしようとしている。	インタビュー テスト 奨励カードの配付
		書くこと	a: “这”と“那”の使い分けができる。 b: 簡体字に親しみ、正しい文字で書くことができる。 c: 兄弟姉妹についてペアワークで対話作文を協力して書いている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
後期	学校生活を語る 第５課 “几点了？“ 第10課 “你有今天的电影票吗？” 第11課 “王老师在哪儿呢？“ 第12課 “有没有熊猫？”	聞くこと	a: 「何時何分」「15分」「45分」などの時刻を表す言葉を聞いて理解することができる。 b: 何時に何をするかを聞いて理解することができる。 c: 中国の高校生の一日の時間割やどこに何があるかなど、積極的に聞こうとしている。	小テスト
		読むこと	a: 方角、場所を表す言葉を読んで理解することができる。 b: どちらの方向に何があるかを読み取ることができる。 c: どちらの方向に何があるかを読み取ろうとしている。	定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 時刻を正しい表現で言うことができる。 b: 自分の家がどこの市（区）にあるかを言うことができる。何時に何をするかを尋ねたり、答えたりすることができる。 c: インタビューテストに向けて、ペアで積極的に練習している。自分からすすんで発表したり、中国語で先生に話しかけたりしようとしている。	インタビューテスト
		書くこと	a: 量詞を使って書くことができる。“二”と“两”を使い分けることができる。前後左右、上下中、東西南北など、方向を表す語を簡体字で正しく書くことができる。 b: 何があるか、どこにあるかを言うことができる。時間の表現を使って書くことができる。 c: 積極的に量詞を使って、書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	第 14 課 “明天的运动会，你参加吗？” 第 15 課 “你现在去哪儿？” 第 16 課 “你吃饭了吗？” 第 17 課 “你会说汉语吗？”	聞くこと	a: 新出単語を聞き取って書くことができる。 b: 正反疑問文と“……吗？”の疑問文を聞き取って、質問に答えることができる。 c: 正反疑問文と“……吗？”の疑問文を聞き取ろうとしている。	小テスト 定期考査
		読むこと	a: 完了と過去の違いを理解している。 b: するかしないか、したかまだしていないか、何ができるかを読んで理解することができる。 c: 連動文の語順を理解しようとしている。	定期考査
		話すこと（発表）	a: 連動文を使って、どこに何をしに行くか、～で～するか、など言うことができる。 b: 自分、自分の兄弟姉妹、自分ができることについて語ることができる。 c: 自分のことについて、積極的に話そうとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	a: 連動文を正しい語順で書くことができる。 b: 何ができるかを書くことができる。 c: 積極的に自分のできることを書こうとしている。自分のこと、家族のことについて紹介する文をたくさん書いている。	ワークシート 定期考査
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度